



ロイド・ウェバーミュージカル日本公演に

MLSの生徒が3名出演しました!!

「ヨセフ・アンド・ザ・アメージング・テクニカラー・ドリームコート」

「キャッツ」「オペラ座の怪人」など、数々の大ヒットミュージカルの大作曲家アンドリュー・ロイド・ウェバーの原点の作品です。以前、ジュニアタイムスで、この作品の出演者募集のお知らせをしたところ、MLSから3名の方が、みごとオーディションに合格し、東京国際フォーラムでの本番公演に出演しました。



吉田 杏さんのお母さまより

約1ヶ月間ほぼ毎日3~5時間のレッスンを、1日も休まず必死でした。英語の歌詞を読めないで、耳で覚える為にずっとCDを聞き続けました。その甲斐があり、舞台上に立った娘の姿はとても堂々としていて、歌やダンスを楽しんでいました。子供合唱団と出演者、その他スタッフのほとんどが、外国人という状況中でやり遂げた自信は、彼女にとっていい経験だったと思います。



札内 茜梨さん 萌花さんのお母さまより

長女茜梨、次女萌花が『ヨセフ』の素晴らしい曲の数々を歌うチャンスを頂けた事、本番にむけて1ヶ月の歌・ダンスの指導を受けた事、そして連日10公演の舞台に立った事…etc、全てに感謝しています。国際色豊かなメンバーの中で日本語が使えず最初は戸惑っていましたが、いつのまにか2人はリーダーとしてChildren's Choirを引っ張っていました。学校との両立や体力の調整も大変な中、心から舞台を楽しんでいる姿に母として胸を打たれ感動しました。I'm proud of you!



リハーサルは、すべて英語で進められました。3人以外の多くがインターナショナルスクールの生徒でした!!

